

Action for SDGs

山形の里山の森を再発掘再評価再導入し持続可能な森に！

森のようちえん

2024

Minamihara Yonezawa Yamagata



草を刈り、環境を整え
森のようちえんのはじまり



山形大学建築デザイン学科の学生たちが作ってくれた
森の中の遊具

つながる



春のかてもの探し



森の葉っぱたち



自然工作

つくる



様々な印刷物で森の豊かさや
森のようちえん活動、緑環境税をPR



森に暮らすフィールドを解放
イベントに森のようちえんコーナー



現職の幼稚園の先生たちが視察に



探求 想像 発信

いろんなテーマを発見



幼稚園や小学校も団体で訪問



丸太のお皿に森の恵み



アウトドアードローイング



四季折々に雨が降っても
森で遊ぼう！

里山の森の背景と私たちのアクション

Skovbørnehave

舞台は、直江兼続公ゆかりの屋敷森、デンマークで暮らした時の森のようちえんと里山の森の出会いのひらめきで
「森のようちえん」を春夏秋冬開催しています。「子どもたちの今、目の前にある時間」見守る環境を整えています。

自然の中での保育や暮らしの豊かさ、楽しさを伝えています

森林、きのこ、薬学、植物、食などいろんな専門家の皆さんにたくさん助けられました

- 1、子どもたちの「森」への関心、感性、興味の高まり（植物、虫、動物、木の実、季節）
- 2、「自然保育」「木育」への関心の高まり（保護者 教育、保育者 県外からの訪問者）
- 3、近所の方、山や森を持つ方の意識の変化（自分の森を整え案内してくれる方が増えた）

みどり環境税で印刷物を作り配布し、森で実践することでリアルな効果

